



DI News

2019年度冬号

浦添総合病院 医薬品情報誌
担当：宮里・奥間 作成者：奥間



今回のニュース



- ・食べ合わせについて
- ・術前中止薬について

食べ合わせ・飲み合わせ

患者さんに薬を渡す際に、「なるべくお水で服用してください。」と伝えていませんか？
 コーヒーやジュースで服用した場合と何が違うのでしょうか。
 今回は、薬と食品の食べ合わせについてまとめてみました。

☆食べ物と薬が一緒になることで問題が起こる主な理由は・・・

- ・食物の成分が、薬の分解を阻害する
- ・脂溶性の薬剤は、牛乳や脂肪食により吸収が増大する
- ・高タンパク食の後に薬を服用すると血中濃度が上昇する
- ・アルコールとの併用で、睡眠薬の作用が増強する
- ・薬がアルコールの分解を妨げ、吸収を増大させる（急性アルコール中毒）

薬の作用

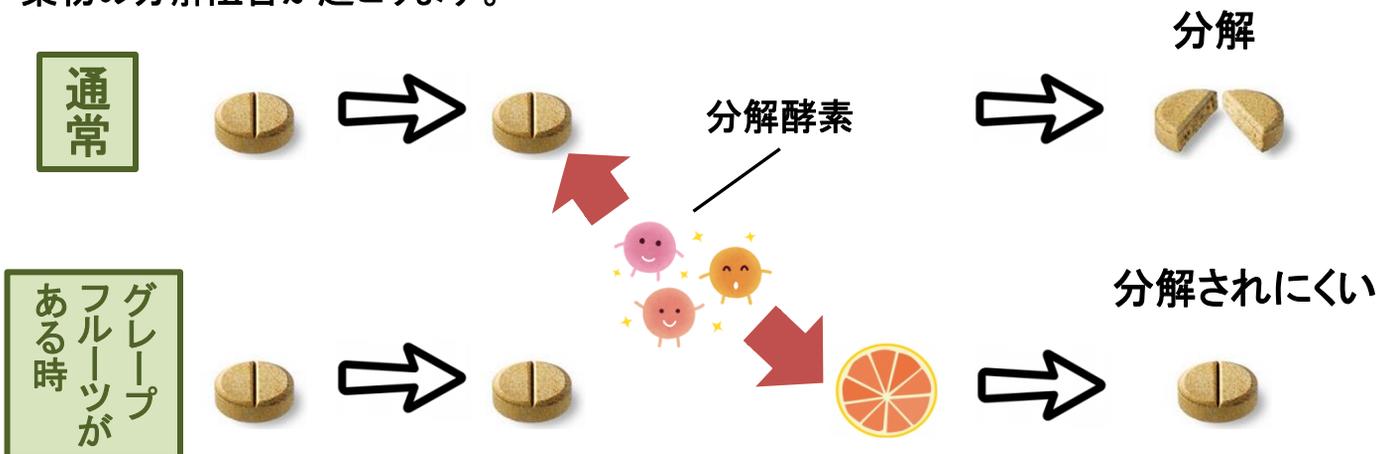


- ・食物の成分が、薬の成分と拮抗して薬の効果が減弱する
- ・薬が食物に含まれるカルシウムと結合して吸収が低下する
- ・高タンパク食の後に薬を服用すると吸収が妨げられる
- ・酸性飲料により、薬の成分が分解される

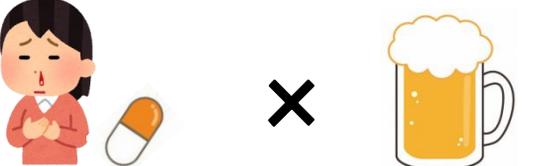
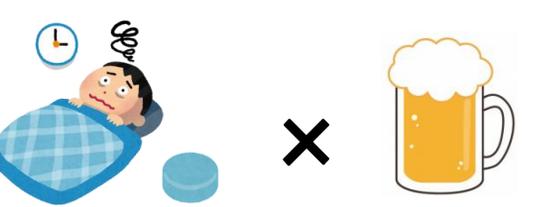
薬の作用



例えば、血圧降下薬とグレープフルーツ(グレープフルーツジュースも同様)では薬物の分解阻害が起こります。



次のページで、患者さんから問い合わせの多い項目について表にしています。
 食品やサプリメント等の口に入れるものは全て、薬との相互作用がないとは限りません。
 薬の効果がでない時、思わぬ副作用が出た時に、食物も可能性の1つとして考えてもいいかもしれません。

組み合わせ	理由
 <p>ワーファリン × 納豆・緑黄色野菜など (一般名:ワルファリン) ビタミンK含有食品</p>	<p>血液を固めるためにはビタミンKが必要です。納豆には、ビタミンKや、大腸でビタミンKを産生する納豆菌が多く含まれているため、ワーファリンの血液を固まりにくくする作用を弱めてしまいます。</p>
 <p>ワーファリン × アルコール (一般名:ワルファリン)</p>	<p>アルコールの慢性的摂取により、ワーファリンの薬物代謝酵素を誘導し、薬の作用が減弱します。また、アルコールによる肝機能の低下で薬剤を代謝出来ず薬の作用が増強します。</p>
 <p>不眠症治療薬 × アルコール</p>	<p>どちらにも中枢神経に対する抑制効果があり、併用することで昏睡状態やショックを引き起こす危険性があります。</p>
 <p>プレタール × グレープフルーツ (一般名:シロスタゾール)</p>	<p>グレープフルーツ(グレープフルーツジュースも同様)には、ある薬物代謝酵素の働きを阻害して、薬の濃度を高めてしまう成分が含まれています。</p>
 <p>高脂血症治療薬 × グレープフルーツ (スタチン系)</p>	<p>例えば、血圧降下薬であれば、血圧が必要以上に低下したり、心拍数が増加して命にかかわる危険な状態になることがあります。</p>
 <p>血圧降下薬 × グレープフルーツ (カルシウム拮抗薬)</p>	

※上記以外にも相性の悪い組み合わせは多数あります。
気になる薬剤や組み合わせがあれば、薬剤師へお声掛けください。



消化器内視鏡、処置前中止期間



抗血栓薬には手術前の休薬期間が設けられていますが、同じく消化器内視鏡の処置前においても休薬期間の定められている薬剤があります。

今回、【抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン】の改訂に伴い、院内の処置前中止期間の一覧を改訂しましたのでお知らせします。

これまで、抗血栓薬による消化管出血の副作用を考慮し、内視鏡治療による後出血の予防のため、休薬期間をとる事を前提でガイドラインが作成されていました。今回の改訂では、休薬に伴う血栓塞栓症を回避する方向性に改められています。改訂箇所については、下記表をご覧ください。

※下記表が見えづらい場合には、掲示用に添付している一覧表(改訂前後比較表)をご覧ください。

※改訂後の処置前中止期間一覧表完成版についても同様に添付しています。

「消化器」内視鏡における処置前中止期間(同成分薬)

注①基本的には抗血小板薬の休薬が可能になるまで延期が好ましい。
以下の対応は延期できない場合に限る。

種類	薬剤名	中止期間			
		低リスク処置 (生検も含む)	高リスク処置		
			単剤	2剤併用時	3剤併用時
抗凝固薬	イグザレルト錠 (リバ-ロキサパン)	休薬なし ピーク期避ける※1 ※1:処置があらかじめ予測できる場合には朝の内服を処置後に遅らせる。朝に内服している場合には午後に処置を行う。	下記のいずれかを選択 ・当日のみ休薬(翌日再開) ・ヘパリン置換	下記のいずれかを選択 ・当日のみ休薬(翌日再開) ・ヘパリン置換	
	エリキュース錠 (アピキサパン)				
	ブラザキサカプセル (ダビカトランエネキシラート)				
	リクシアナ錠 (エドキサパン)				
	ワーファリン錠 (ワルファリンカルウム)				
	ワルファリンカルウム錠「NP」 (ワルファリンカルウム)				
抗血小板	エバデールS (イソサハント酸エチル)	休薬なし	1日	1日	
	エフィエント錠 (prasugrel 塩酸塩)	休薬なし(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリン、シロスタグレル置換(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタグレル or アスピリン置換	
	【当院採用外】 コメリアンコーフ錠 (シラセフ塩酸塩水和物)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 コンプラミン配合錠 (アスピリン+クロピドグレル)	バイアスピリン錠とクロピドグレル錠の項目を参照			
	消化器内科コンサルト(医師確認の上で中止もしくは他剤へ変更)				

改訂前			
中止期間	高リスク処置		
	低リスク処置 (生検も含む)	単剤	2剤併用時
当日のみ	1日前	-	
1日前	2日前	-	
休薬なし	ヘパリン置換	ヘパリン置換	
当日のみ	1日前	-	
INRが治療域の場合 休薬なし	ヘパリン置換	ヘパリン置換	
休薬なし	1日	1日	
休薬なし or 5~7日	アスピリン、シロスタグレル置換 or 5~7日	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタグレル or アスピリン置換	
休薬なし	1日	1日	
消化器内科コンサルト(医師確認の上で中止もしくは他剤へ変更)			

「消化器」内視鏡における処置前中止期間(同成分薬)

注)基本的には抗血小板薬の休薬が可能なまで延期が好ましい。
以下の対応は延期できない場合に際する。

改訂前

種類	薬剤名	中止期間			
		低リスク処置 (生検も含む)	高リスク処置		
			麻酔	2期併用時	3期併用時
抗血小板	サルボグレラート塩酸塩錠 (塩酸サルボグレラート)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 タケルダ配合錠 (ランソプラゾール +アスピリン)	休薬なし(血栓症リスク大) or 3~5日(血栓症リスク小)	休薬なし(血栓症リスク大) or 3~5日(血栓症リスク小)	シロスタゾール置換 or 継続	
	バイアスピリン錠 (アスピリン)	休薬なし(血栓症リスク大) or 3~5日(血栓症リスク小)	休薬なし(血栓症リスク大) or 3~5日(血栓症リスク小)	シロスタゾール置換 or 継続	
	チクロピジン塩酸塩錠 100mg「トローワ」 (塩酸チクロピジン)	休薬なし(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリン、シロスタゾール 置換(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタゾール or アスピリン置換	
	クロピドグレル錠 (硫酸クロピドグレル)	休薬なし(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリン、シロスタゾール 置換(血栓症リスク大) or 5~7日(血栓症リスク小)	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタゾール or アスピリン置換	
	シロスタゾールOD錠 「トローワ」 (シロスタゾール)	休薬なし	1日	休薬なし	
	ベラプロストNa錠20μg 「トローワ」 (ベラプロストNa)	休薬なし	1日	1日	
	リマプロストアルファデクス 錠5μg「日医工」 (リマプロストアルファデクス)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ベルサンチン錠(未採用) (シヒリダモール)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ドメナ錠(未採用) (オザグレール)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ロコルナール(未採用) (トラビシム)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ロトリガ粒状カプセル (オホ3-脂肪酸エステル)	休薬なし	1日	1日	
	その他	ケタスカプセル (イブジラスト)	休薬なし	3日間 (リスクに応じて判断)	-
		セロクラール錠 (酒石酸フェンゾピジル)	休薬なし	2日間 (リスクに応じて判断)	-
【院外専用薬】 バイナス (ラマトロバン)		休薬なし	1日間 (リスクに応じて判断)	-	

種類	薬剤名	中止期間			
		低リスク処置 (生検も含む)	高リスク処置		
			麻酔	2期併用時	3期併用時
抗血小板	サルボグレラート塩酸塩錠 (塩酸サルボグレラート)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 タケルダ配合錠 (ランソプラゾール +アスピリン)	休薬なし or 3~5日	休薬なし or 3~5日	シロスタゾール置換 or 継続	
	バイアスピリン錠 (アスピリン)	休薬なし or 3~5日	休薬なし or 3~5日	シロスタゾール置換 or 継続	
	チクロピジン塩酸塩錠 100mg「トローワ」 (塩酸チクロピジン)	休薬なし or 5~7日	アスピリン、シロスタゾール 置換 or 5~7日	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタゾール or アスピリン置換	
	クロピドグレル錠 (硫酸クロピドグレル)	休薬なし or 5~7日	アスピリン、シロスタゾール 置換 or 5~7日	アスピリンを含む場合 ⇒5~7日 アスピリンを含まない場合 ⇒シロスタゾール or アスピリン置換	
	シロスタゾールOD錠 「トローワ」 (シロスタゾール)	休薬なし	1日	休薬なし	
	ベラプロストNa錠20μg 「トローワ」 (ベラプロストNa)	休薬なし	1日	1日	
	リマプロストアルファデクス 錠5μg「日医工」 (リマプロストアルファデクス)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ベルサンチン錠(未採用) (シヒリダモール)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ドメナ錠(未採用) (オザグレール)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ロコルナール(未採用) (トラビシム)	休薬なし	1日	1日	
	【当院採用外】 ロトリガ粒状カプセル (オホ3-脂肪酸エステル)	休薬なし	1日	1日	
	その他	ケタスカプセル (イブジラスト)	休薬なし	3日間 (リスクに応じて判断)	-
		セロクラール錠 (酒石酸フェンゾピジル)	休薬なし	2日間 (リスクに応じて判断)	-
【院外専用薬】 バイナス (ラマトロバン)		休薬なし	1日間 (リスクに応じて判断)	-	

2019年10月1日改訂
薬剤部医薬品情報室

不明点があれば、薬剤部の医薬品情報担当者(PHS:6316)までご連絡ください。

参考資料: 沖縄県薬剤師会HP

抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン

直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補2017